



考えさせて伸ばすには?!

沼津市教育長 奥村 篤

日本のお家芸と言われる柔道は、昨年の東京五輪で史上最多の金メダル9個を獲得するなど話題を呼びましたが、全日本柔道連盟は2022年3月、2004年度から毎年夏に開催していた「全国小学生学年別大会」を2022年度から廃止する、と発表しました。

同連盟のホームページでは、「行き過ぎた勝利至上主義が散見される」ことを、廃止の理由にあげています。子供は大人のミニチュアではありません。心身の発達途上にあり物事を判断する能力が十分でない小学生が、勝利至上主義に陥ることは好ましくありません。柔道に限らず他のスポーツでも、小学生の全国大会は必要なのか? と疑問視する声が増えています。指導者や保護者の過度な期待に応えなければと自分を追い込む姿や、成長期に食べたいものを我慢してプロテインを飲む姿も見かけます。大人から勝利を求められたり責任が伴ったりするスポーツに燃え尽き、もうやりたくないと思わせてしまうのは、とても悲しいことです。

今回の全国大会廃止には、とにかく大人が言い過ぎ、子供を指示に従う行動に縛ってしまいがちな日本のスポーツ指導への、アンチテーゼも込められているように思います。小学生と同様に、中学生も指導者から言われることをやればよいという状況に、慣れてしまっていることはないでしょうか? 子供たちには、のびのびとスポーツに取り組む中で、その魅力を実感し、好きになって楽しんでもらいたいと思います。スポーツは、勝つためではなくスポーツをすることが楽しい、スポーツが自分の成長につながりやりがいがあるといった「内発的動機付け」(行為そのものを目的とする)に根差した取り組み方が大切ではないでしょうか。

令和の教育では「コンピテンス」(様々な経験を通して身に付けることができる能力)の養成が求められており、そのために重要とされるのは、直接の指導ではなく、間接的な指導であります。子供は大人と同じように、自ら成長したい、社会に貢献したい、といった欲求を持っています。これらを満たすような場をつくるのが、やる気や意欲に繋がります。

一人一人の子供は、それぞれ性格や能力が異なるため、場づくりには決まった解や方法は存在しません。一人一人を理解している大人たちが、子供の視点に立って知恵を出し合い、子供の可能性を引き出すことを模索し続けることが、重要であると思っています。

面接相談&電話相談

◎ 非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。



1 面接相談

◎ 相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）Tel.951-3440

(1) 新規面接相談件数 1月～3月 27 件 年間合計 111 件

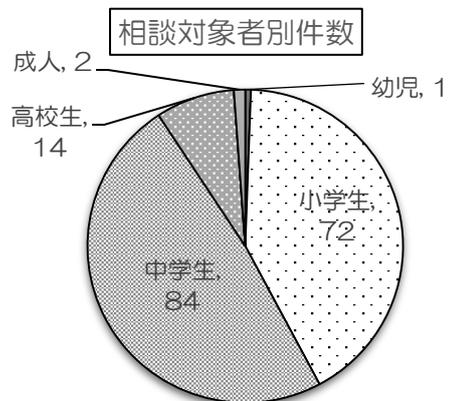
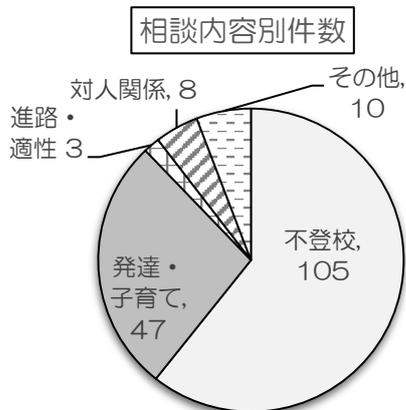
<相談内容別件数>

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	6	1	0	0	1	8
2月	0	5	3	0	0	2	10
3月	0	6	1	1	1	0	9
合計	0	17	5	1	1	3	27
年間	0	61	32	3	5	10	111

<相談対象者別件数>

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	成人	合計
1月	0	3	3	2	0	0	8
2月	0	4	5	1	0	0	10
3月	0	1	6	1	0	1	9
合計	0	8	14	4	0	1	27
年間	1	45	54	10	0	1	111

(2) 年間面接相談件数 173 件



(3) 年間面接相談回数 2346 回 ※相談員が面接を実施した回数

2 電話相談（愛称：やまびこ電話 951-7330）

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）



<相談内容別件数>

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言	合計
1月	0	0	0	1	0	0	0	20	55	76
2月	0	2	1	1	1	4	0	11	48	68
3月	0	0	1	1	0	0	1	20	29	52
合計	0	2	2	3	1	4	1	51	132	196
年間	0	12	9	13	1	43	13	384	574	1049

<相談対象者別件数>

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専修生	一般成人	不明	合計
1月	0	0	0	1	0	0	17	58	76
2月	0	2	0	2	0	1	15	48	68
3月	0	2	0	1	2	0	14	33	52
合計	0	4	0	4	2	1	46	139	196
年間	0	20	14	11	2	2	403	597	1049

情報コーナー

「学校に行く気はあるが登校できない…」 「いじめられているみたい…」 「心や体の発達が気になる…」 など
お子さんのことで困っていることや悩んでいることがございましたら、青少年教育センターにご相談ください。

面接相談

原則：保護者からの電話による
 申し込み **055-951-3440**

初回面接：保護者のみ

児童生徒との面接

通所面接

- ・自己決定力を身に付ける
- ・自信の回復を図る
- ★少人数での体験活動「はばたき」への参加

学校復帰・社会的自立

特別な手続きは必要ありません。電話でお申し込みください。

通所：青少年教育センターへ児童生徒が面接相談に来所することです。

- ・1回1時間を基本とする予約制
- ・原則1対1の個人面接

相談指導学級

集団で生活、学習することが必要であり適切であると判断された児童生徒が通うところです。

電話相談

やまびこ電話
055-951-7330
 ※相談は匿名で構いません。

子どもの成長を支える講座 「そよかぜ」

専門家の知見を子育てに役立てていただけるよう**臨床心理士、言語聴覚士**による講話を行っています。
 思春期における子育て、学校に行きづらさを感じている子どもの理解と対応、ことばの発達に関する内容等、子育てに役立つ内容が盛りだくさんです。



【体験活動「はばたき」】

- 1/19(水)新春お楽しみ大会(12人)
- 2/ 2(水)高沢公園に行こう(11人)
- 3/10(木)沼津港深海水族館(17人)

3学期は月に1回の活動でした。新春お楽しみ大会は、すごろくや百人一首を行いました。

相談指導学級と合同での「沼津港深海水族館に行こう!」では、クイズラリー形式により、ここでしか見ることができないシーラカンスや深海のアイドルのメダコなどを、興味津々で見学していました。

今年度のはばたき活動は、9月の活動が新型コロナウイルス感染症予防のため実施できませんでした。その中で延べ130人の児童生徒が参加し、子供同士で関わりながら小集団で活動する楽しみを味わえたのではないかと思います。

これからも異年齢の小集団で関わり合えるはばたき活動を通して、一人一人に応じた支援をしていきたいと思ひます。



【相談指導学級】

昨年度の相談指導学級の開級期間は、令和3年4月7日から令和4年3月18日まででした。通級者は7人で、内訳は中学3年生1人、中学2年生4人、中学1年生1人、小学5年生1人でした。その他に学習室を利用して学級で過ごす児童生徒も8人いました。

相談指導学級は、小集団での活動を行うことにより、人との関わり方を学ぶ場です。初めのうちは慣れない友達との接し方に戸惑っていた子供もしだいに打ち解けていきました。相談指導学級では、自主学習、様々な体験学習やスポーツなどを計画的に実施しています。ふれあいタイムには、異学年と一緒にカードゲームなどをして楽しい時間を過ごします。それらの活動を通して、互いに助け合い、認め合う姿を見ることができました。

中学3年生は希望の高校に合格することができました。中学1、2年生の中には、4月から学校復帰を目指す生徒もいます。相談指導学級での経験やここで蓄えたエネルギーをもとに、これからの生活を切り開いていくことと思ひます。

本年度は開級時間を延長し、利用者がより使いやすくなるような取り組みを進めていきます。保護者の皆様や学校の先生方と連携して、安心して過ごせる居場所となるように温かく支援していきます。

(5・6・7月の主な活動)

※新型コロナウイルスの感染状況や天候等により、中止や延期、内容変更等をする場合があります。

- 5月12日(木) 創作(点つなぎ)
- 25日(水) びゅうお見学
- 6月 8日(水) レクレーション
- 22日(水) 買い物ツアー
- 7月 6日(水) 鮎壺の滝見学



補導の状況

1 1月～3月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

新型コロナウイルス感染の関係で、中央補導はセンター職員のみで実施することが多い1年間でした。各地区においても、中止したり補導委員の人数を減らしたりするなど、苦慮の連続だったことと思います。令和4年度も、難しい補導が予想されますが、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

学 職 別 区 分		性 別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	一年間累計
飲	酒	男							0	0
		女							0	0
喫	煙	男							0	0
		女							0	0
薬 物 乱 用		男							0	0
		女							0	0
夜 間 は い か い		男							0	0
		女							0	0
不 良 交 友		男							0	0
		女							0	0
怠 学 ・ 怠 業		男							0	0
		女							0	0
ゲームセンター入場		男	6	25	91			3	125	236
		女	2	19	145			3	169	367
パチンコ店入場		男							0	0
		女							0	0
カラオケ店入場		男			3				3	6
		女							0	2
自転車の暴走行為		男							0	4
		女							0	0
自転車の二人乗り		男							0	2
		女							0	0
自転車の無灯火		男		1	1				2	11
		女							0	2
危 険 な 遊 び		男		1					1	2
		女							0	0
そ の 他		男	1						1	4
		女							0	2
計		男	7	27	95	0	0	3	132	263
		女	2	19	145	0	0	3	169	373
男 女 合 計			9	46	240	0	0	6	301	636
法令違反・ ぐ犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男							0	0
		女							0	0
	他 機 関	男							0	0
		女							0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	
※ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為										
愛 の 声 か け 運 動		男	17	34	11				62	636
		女	16	34	2				52	465
男 女 合 計			33	68	13	0	0	0	114	1101

2 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況

	参加人数						回数				状況	
	市職員	教員	補導委員代表	警察	補導委員区	計	午前	午後	夜間	計	の不良行為等確認	愛の声かけ
1月	7	5	6	0	170	188	2	9	24	35	75	34
2月	11	0	0	0	98	109	1	10	17	28	79	49
3月	10	5	3	0	149	167	0	10	26	36	147	31
合計	28	10	9	0	417	464	3	29	67	99	301	114
年間	105	64	74	1	1865	2109	4	123	258	385	636	1101

補導の目

コロナ禍での補導

第二地区補導委員代表 村井 誠

静岡県に緊急事態宣言が発令されておよそ2年間に経過しました。これまでに緊急事態宣言が2回、蔓延防止措置も2回発令され、学校での行事も中止や延期が続き、私たちの生活スタイルはもちろん、青少年を取り巻く状況も大きく変わりました。

補導活動においては、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを守り、情報交換である会話も少なくしての活動となりました。そのような中、最近私が特に気になっているのは、今までは声掛けをする相手の顔全体の表情、口の動きを見て会話を行っていましたが、今、マスクを付けた状態では子供たちの口元が見えず、目だけの表情を見ながら会話を行うようになったことです。そのため、子供たちとの会話の仕方は今まで以上に大きなウェイトを占めるようになりました。子供たちの性格や育った環境は様々ですので、ちょっとした言葉や何気なく発した言葉が「言葉の暴力」になりかねません。そこで、目の動きを見ながら子供の視点に立ち、相手の状況を理解して優しい言葉で、できれば自己への気づきができるような会話にしよう心掛けています。

現在、地域の補導パトロール活動においては、コロナ禍の影響で子供たちだけでなく人に接すること自体が少なくなりました。しかし、「継続は力なり」といいますので、地域の状況を点検し、アンテナを高くして小さな変化を見逃さずに子供たちを見守り声掛けし、大人にも挨拶を通して声を掛けていくことが大事だと思います。これからも、コロナ禍での生活が続くと思いますが、ウイズコロナでの補導活動を模索していこうと思います。

【5・6・7月の補導活動予定】

○中央街頭補導	5/20(金) 24(火) 25(水) 31(火) 6/3(金) 8(水) 10(金) 14(火) 17(金) 21(火) 22(水) 29(水) 7/1(金) 5(火) 6(水) 12(火) 15(金) 19(火) 20(水) 27(水)
○新任補導委員研修会	5/16(月) 17(火) 19(木)
○補導委員代表者会	5/13(金) 6/24(金)
○夏季一斉少年補導、立入調査	7/11(月)

